

## 全国の最近 5 年間(2018～2022 年)の食中毒発生状況

全国の最近 5 年間(2018～2022 年)における主な食中毒及び患者数が 500 名以上の大規模食中毒の発生状況は、表 1 及び表 2 のとおりで、次の特徴が挙げられる。

1. 新型コロナウイルス感染症の流行により飲食店の利用者が減少したこと、手指等の消毒がこまめに行われたこと等により食中毒の総事件数、総患者数は、共に減少が認められた。
2. 特に、カンピロバクター属菌及びノロウイルス食中毒において、事件数や患者数の減少が認められた。
3. ウエルシュ菌食中毒は、主に給食施設で発生し、1 件当たりの患者数が多い。
4. 2021 年 5 月、沖縄県の特別養護老人ホームにおいて「春雨のあえもの」を原因食品としたサルモネラ属菌食中毒が発生し、1 名(80 代の男性)が亡くなった。
5. アニサキス線虫食中毒は、毎年、事件数は最も多いが、大半の事件が患者数 1 名で患者数はさほど多くない。
6. 毎年、自然毒(特に植物性)食中毒で、数名の死者が出ており、注意が必要である。
7. 患者数が 500 名以上の大規模食中毒は、7 件(ノロウイルス食中毒 3 件、その他の病原大腸菌食中毒 3 件、ウエルシュ菌食中毒事件 1 件)発生した。

表 1 主な食中毒の発生状況

原因物質	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
カンピロバクター属菌	事件数	319	286	182	154	182
	患者数	1,995	1,937	901	764	813
ウエルシュ菌	事件数	32	22	23	30	21
	患者数	2,319	1,166	1,288	1,916	1,454
腸管出血性大腸菌	事件数	32	20	5	9	8
	患者数	456	165	30	42	78
その他の病原大腸菌	事件数	8	7	6	5	2
	患者数	404	373	6,284	2,258	200
サルモネラ属菌	事件数	18	21	33	8	21
	患者数	640	476	861	318(1)	669
黄色ブドウ球菌	事件数	26	23	21	18	15
	患者数	405	393	260	285	231
ノロウイルス	事件数	256	212	99	72	59
	患者数	8,475	6,889	3,660	4,733	1,953
アニサキス線虫	事件数	468	328	386	344	570
	患者数	478	336	396	354	582
クドア(粘液胞子虫)	事件数	14	17	9	4	11
	患者数	155	188	88	14	91
自然毒(植物性、動物性)	事件数	61	81	84	45	50
	患者数	133(3)	172(3)	192(3)	88(1)	172(2)
化学物質	事件数	23	9	16	9	2
	患者数	361	229	234	98	148
総事件数(件)	1,330	1,061	887	717	957	
総患者数(名)	17,282(3)	13,108(4)	14,613(3)	11,080(2)	6,587(2)	

( )内: 死者数

表 2 患者数が 500 名以上の大規模食中毒の発生状況

発生年月	発生都道府県	原因施設	原因食品	原因物質	患者数(名)
2018. 6	京都府	給食施設	不明	ウエルシュ菌	621
2018.12	広島県	仕出し屋	不明	ノロウイルス	550
2020. 6	埼玉県	飲食店	海藻サラダ	その他の病原大腸菌	2,958
2020. 8	東京都	仕出し屋	不明	その他の病原大腸菌	2,548
2020.12	山形県	仕出し屋	不明	ノロウイルス	559
2021. 4	岡山県	仕出し屋	給食弁当	ノロウイルス	2,545
2021. 6	富山県	製造所	牛乳	その他の病原大腸菌	1,896